

！様ありがとうございます！心より感謝致します！

SK加古川通信

第45号
平成22年9月
SKグループ物5版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
WILLHOUSE
本社 京都市伏見区南寮小屋町53番地
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町栗津771の11



施工前のお庭です。



施工前のお庭です。



ハイパーテーションで目隠し



ルーバーなので風が通ります。

先日工事させて頂いた野口町のI様邸の外構工事の写真です。ご主人様も奥様も私と同級生！当社で工事をさせて頂き、心より感謝致します。しかし、人のご縁はおもしろいものですね。I様のご主人様と今度当社で新築を建てさせて頂けるF様のご主人様がこれまた同じ中学校出身の同級生！I様の奥様は私と小学校の時に同じクラスになった事があります。(笑)今年の一月に同窓会があって以来、何かと同じ歳同士で繋がって行って本当にありがたい事です。写真に写っているウッドデッキは特注品の樹脂性です。ベースのデッキは既製品ですが、立ち上がりのパーテーションは現場で加工して作りました。パーテーションも樹脂性です。元々ベースと同じ既製のパーテーションを使うとその部分だけで定価100万円は超えてしまいます(汗)何とかご要望通り予算内で納めるように考えた結果、このパーテーションになりました。お客様の利益を守り、要望や快適さをご予算に合わせて考えるのも私の仕事です。何なりとご相談下さい。

土間コンクリートに乱形石張りの

門扉も付けてはい！完成！

御用聞き しらやこういち

尾上町K様邸増築工事！



今月末より、尾上町のK様の増築リフォーム工事が始まります。尾上町のK様は以前浜ノ宮で新築工事をさせて頂いたI様のお知り合いで、当社のホームページをご覧になられて資料請求をして下さり、お見積もりをさせて頂く事になりました。

そしてお見積もりを提出させて頂いて、他社との相見積りの結果、当社が工事をさせて頂ける事になりました。

K様、当社を信用して下さい、誠にありがとうございます。ご期待に添えるよう精一杯努力致します。

また、リフォーム部分は抗酸化工法での施工となりますので、またまた私の出番です。（笑）

工事の内容は現在のリビングを広げる為に写真に写っているバルコニーの下の部分を増築し、

リビング自体を広げる為にハリ補強や、外壁の下地にはあんしんボードを使っての耐力壁にして

また、ピアノを置く為に、一度床をめぐって28mm厚の剛床にして構造事態を今の家よりも地震に強くします。

後はK様のご要望通りの工事となりますが、工事内容はブログにUPさせて頂いても良いと許可を得られましたので

また写真付きで記載させて頂きます。写真に残す事が出来るのはいい仕事をしていると言う証、

信頼関係の証でもあります。信頼を裏切らない為にいい工事をさせて頂きますのでよろしくお願い致します。



御用聞きさんのひとりとご・・・

来月10月2日に毎年行なわれている児童養護施設「岸和田学園」「あおぞら」の合同運動会である「ふれあいフェスタ in 岸和田」を9年連続9回目で開催されます。児童養護施設の子供達は実の親と何らかの事情で一緒に住む事が出来ない子供達が集団で生活を送る施設です。昔は孤児院と言われていました。現在では児童養護施設と呼ばれています。私は10年前、中小企業の活性化に伴う研修でリーダーシップトレーニング（通称LT）と言われる勉強会に参加して、そこで一緒に学んだ仲間と共に何か社会に貢献出来る事はないだろうか？と言ふ事で始まった活動の一環がこの「ふれあいフェスタ in 岸和田」だったので。会としては10年目の節目を向かえ、当代表幹事だった私が、今回代表を務めさせて頂く事になり、この一年を通じて仲間と共に計画を立てさせて頂いてきました。

この会を通じて本当に色々と学ばせて頂けて本当に感謝しています。当社の大西会長ともこの勉強会を通じて知り合う事となりました。そしてカンボジアへの活動と繋がっていたのですが、それもこれもすべて知り合う事となつたのです。皆様のご支援ご理解協力して下さい。皆様のお陰と本当に心より感謝しております。岸和田学園・あおぞらのこの活動にもたくさん皆様のお陰でやって行く事が出来ます。普段なかなか一日中大人に付きっ切りで遊んでもらう事などない子供達・・・

一番親の愛情が欲しい時に与えられる事のない子供達、中には幼児虐待で保護された子供や育児放棄されてしまった子供もいるこの現実の中から私達は何かを学ばせて頂いているように思います。今年は中学校や高校生になった子供達がボランティアスタッフ側でお手伝いに19名もお手伝いに来てくれるとの事でそれを聞いた時に私はなぜか涙が止まりませんでした。子供たちはの胸に想い出はしっかりと刻まれていたのだと、そして覚えていてくれていたのだと、私達はこれからもこの想いを胸に続けていく事はとても大変ですが、出来る限り継続出来るよう、頑張って参ります。

